

1. 2025 年度活動報告

環境部などとコラボレーションしながら情報収集につとめ、世界及び日本における繊維製品の持続可能な消費とは？安全性は？などについて考え、行動し、勉強会、ロビー展示などを実施し、広く情報発信に努めました。

i. 現在の日本における子ども服の流通について試買調査を実施しました。

- ・デパート・量販店・専門店などにて下げ札・品質表示ラベル・ポップなどの実態を店頭調査しました。また、日本企業による子ども服の多くがアジア（ベトナム・バングラディッシュ・インド・台湾・パキスタンなど）各国で縫製されている現状を確認し、環境部の協力で、試買しました。
- ・海外通販（個人輸入）による子ども服の試買をしました。

ii. 繊維製品の安全性（化学物質など）について環境部と共催で調査しました。

- ・2024 年度から 25 年度にかけて試買した衣料品（乳幼児・子ども服他）の安全性について検査センター（一般財団法人 ニッセンケン品質評価センター）に化学分析を依頼し、分析結果を広く情報発信（ロビー展示・主婦連たよりへ記事執筆・勉強会開催など）しました。

iii. 最新の日本の繊維産業の実際を知るために学習会や展示会に参加しました。

- ・石川県繊維協会・山形県の紅花を使った天然染料生産者等の縫製・生産工場の現状を知るために展示会を見学し、生産者（縫製業者他）にインタビューしました。

iv. 世界の動きを情報収集し広く発信しました。

- ・EU の繊維に関するライフサイクル、廃棄などについての規制などを調べ、情報発信しました。
- ・米国産綿花の現状について学ぶため、綿業振興会の学習会に参加し、情報発信しました。
- ・インドトレンドフェア、ファッションワールドなどに参加し、世界の繊維産業の現状について情報集収し、エコテックスなどの世界認証が世界の標準になりつつあることを確認しました。

2. 2026 年度活動方針

環境部などとコラボレーションしながら広く情報収集につとめ、世界及び日本における繊維製品について考えを考え、行動し、見学会・勉強会などを開催し、広く情報発信に努めます。

i. 繊維製品の安全性（化学物質など）について環境部と共催で調査します。

- ・2025 年度にひきつづき、衣料品（子ども服他）を試買し、安全性について検査機関（一般財団法人 ニッセンケン品質評価センター）に化学分析を依頼し、分析結果を広く情報発信（ロビー展示・主婦連たよりへ記事執筆・勉強会開催など）します。
- ・検査センターの見学会を開催します。

ii. 爆発的な流行となっている『血行促進』『疲労回復』を謳うパジャマなどの衣料品（リカバリーウェア）について情報収集し、効能などについて調査および行政などに確認し、勉強会などを開催します。

iii. ファイバーリサイクルの現状を知るために環境部と共催で勉強会・見学会を開催します。

iv. 日本の繊維産業の現状を知り、未来について考えます。

- ・絹、木綿、石川県・岡山県などの繊維産業などについて情報収集し学習会を開催します。

V. 世界の動きを調査し学習します。

- ・EU などの繊維に関するライフサイクル、廃棄などについての規制などを調べ、情報発信します。
- ・アパレルに関する 廃棄・労働環境（外国人材）などの現状について調べ、情報発信します。